

令和4年度（第77回）文化庁芸術祭協賛公演  
シリーズ【未来につながるもの】Ⅱ

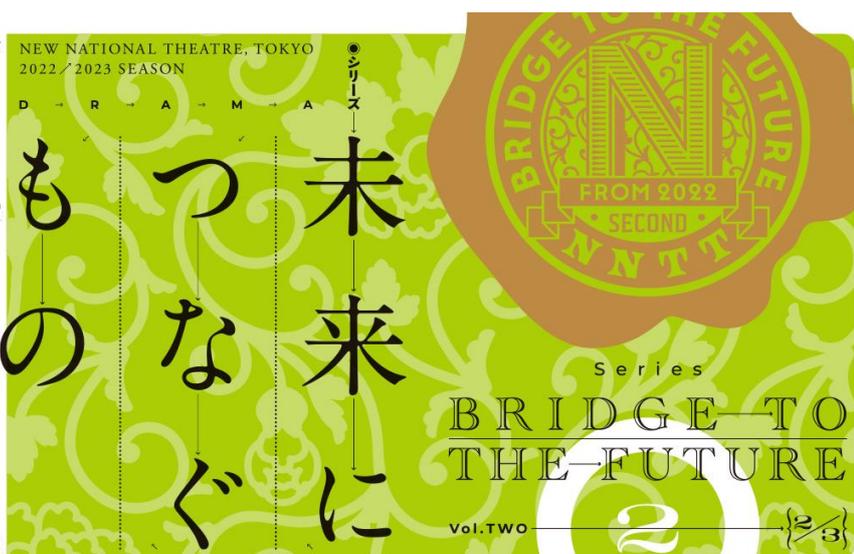
# 新国立劇場『夜明けの寄り鯨』

いま演劇界で注目の劇作家・横山拓也が新国立劇場初登場！  
25年前に自分が傷つけたかもしれない男性の面影を追う、  
一人の女性のこころの物語。

## 夜明けの 寄り鯨

BEACHING  
AT  
DAWN

12月1日（木）  
12月18日（日）  
公演日程



小島 聖



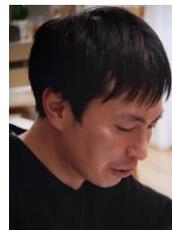
池岡亮介



小久保寿人



作：横山拓也



演出：大澤 遊



芸術監督：  
小川絵梨子

10月29日（土）10:00～ 一般発売 新国立劇場ボックスオフィス 03-5352-9999

写真・資料のご請求、取材のお問い合わせ

新国立劇場 制作部演劇 広報担当 関

TEL: 03-5352-5738 FAX: 03-5352-5737

〒151-0071 東京都渋谷区本町1-1-1

25  
NEW  
NATIONAL  
THEATRE  
TOKYO  
ANNIVERSARY



新国立劇場

<http://www.nntt.jac.go.jp>



JAPAN CULTURAL EXPO

令和4年度日本博主催・共催型プロジェクト

## 作品について

2022/2023 シーズン中に日本の劇作家の新作をお届けするシリーズ企画、【未来につなぐもの】の第二弾として、いま演劇界で注目の劇作家・横山拓也の新作をおおくりします。

和歌山県の港町を舞台に、25 年前に自分が傷つけたかもしれない男性の面影を追う、一人の女性のこころの物語です。ひとのこころの内面を静かに描く、まさに横山拓也ならではの劇世界です。

演出は、新国立劇場では「こつこつプロジェクト」第一期として『スペインの戯曲』を手がけた、若手演出家・大澤 遊を迎えます。彼の丁寧で繊細な演出はこの作品の奥深い魅力をあますところなく伝えてくれるでしょう。

## あらすじ

和歌山県の港町。手書きの地図を持った女性が 25 年ぶりに訪れる。女性は大学時代、この港町にサークルの合宿でやってきて、たまたま寄り鯨が漂着した現場に居合わせた。まだ命のあった鯨を、誰もどうすることもできなかった。

ここは江戸時代から何度か寄り鯨があって、そのたびに町は賑わったという。漂着した鯨は"寄り神様"といわれ、肉から、内臓、油、髭まで有効に使われたと、地元の年寄りたちから聞いていた。

女性が持っている地図は、大学の同級生がつくった旅のしおりの 1 ページ。女性はその同級生を探しているという。彼女はかつて、自分が傷つけたかもしれないその同級生の面影を追って、旅に出たのだ。地元のサーファーの青年が、彼女と一緒に探すことを提案する。

## 作 横山拓也からのメッセージ

年に何回か、鯨が岸に打ち上げられるニュースを見て、小さく興奮する自分がいます。大型哺乳類の命の消失に触れてショックを受けると同時に、あの大きな躯体がいつのまにか砂浜に辿り着いたという事象に、ミステリとロマンを感じてしまうのです。鯨の座礁は、海洋汚染などの環境問題や船舶の騒音による影響が原因とも言われますが、最近では「ソナー（音波探知）の錯乱」による例がもっとも多いと報告されています。鯨やイルカは、音波を出してその跳ね返りで自分の位置を把握するという話を耳にしたことがあると思います。その能力が地磁気の等高線と遠浅の直行線とが交差するところで錯乱が起きて座礁する例が多いそうです。説明を聞いてもよくわかりません。この座礁した鯨のことを「寄り鯨」と呼ぶことを知りました。日本ではその昔「鯨一頭で七浦が潤う」といって、浅瀬に上がった寄り鯨を捕らえて、その恩恵をみんなで分け合う地域もあったそうです。今回はじめてご一緒する大澤さんと「どんな作品にしましょうか」とやりとりする中で、座礁鯨のモチーフを提案したところ面白がってくれたので、「迷う」「探す」「地図」などの要素をもって書くことにしました。楽しみしなくて気持ちが逸りますが、筆が座礁しないように、慎重に執筆に取り組みたいと思います。

## 演出 大澤 遊からのメッセージ

既成の台本をもとに創作することの多かった僕が、新作の演出のチャンスをいただいた、まず素直に嬉しいです。さらに様々な劇場でお名前をよく目にする横山拓也さんの新作。楽しみで仕方ありません。横山さんとざっくばらんにお話ししている中から、いくつかのイメージが生まれて来ました。それがこの創作の始まりです。いま横山さんがセリフを紡いでくれているところです。以前、恩師である宮田慶子さんに作家が机に向かっている姿を後ろから見たときに、声を掛けられなかったと伺ったことがあります。作家がセリフを紡ぐ作業、物語と向き合う作業は、大袈裟にいうと命を削る作業なのかもしれません。いま僕にできることは作家さんと並走すること。ただ見守ることしかできないかもしれませんが。横山作品の魅力のひとつは、どの登場人物もしっかりと生きている、もしくは生きていたこと。書き上がった物語を、一緒に向き合う仲間たちと丁寧に立ち上げていきたいと思います。地図を頼りに「生きている」ということを大事にして。余談ですが、保育園で僕のものだとわかるように貼られていたシールが鯨だったことをふと思い出しました。小さい頃から鯨と縁があるようです。

## スタッフプロフィール

作：横山拓也 (YOKOYAMA Takuya)

1977年生まれ。大阪府出身。劇作家、演出家、iaku代表。緻密な会話が螺旋階段を上がるようにじっくりと層を重ね、いつの間にか登場人物たちの葛藤に立ち会っているような感覚に陥る対話中心の劇を発表している。繰り返しの上演が望まれる作品づくり、また、大人の鑑賞に耐え得るエンタテインメントとしての作品づくりを意識して活動中。【受賞歴】第15回日本劇作家協会新人戯曲賞『エダニク』、第1回せんだい短編戯曲賞『人の気も知らないで』、第72回文化庁芸術祭賞新人賞〈関西〉ほか。

演出：大澤 遊 (OSAWA Yu)

日本大学芸術学部演劇学科卒業。演劇ユニット「空っぽ人間 <EMPTY PERSONS>」を主宰、すべての作品で構成・演出を手掛けるほか、フリーの演出家として活動。主な演出作品として『あん』『BIRTHDAY』『ダム・ウェイター』『君がいた景色』『まじめが肝心』『かもめ』『少年Bが住む家』など。平成28年度文化庁新進芸術家海外研修制度の研修員としてイギリスのDerby Theatreにて1年間研修。新国立劇場では「こつこつプロジェクト」の第一期の演出として参加、『スペインの戯曲』を一年かけて取り組んだ。

## 出演者プロフィール

小島 聖 (KOJIMA Hijiri)

1989年、大河ドラマ『春日局』でデビュー。99年、映画『あつもの』で第54回毎日映画コンクール女優助演賞を受賞。情感あふれる演劇力と存在感で、映画、舞台、ドラマなど幅広く活躍中。著書に『野生のベリージャム』がある。

【主な舞台】『Heisenberg ハイゼンベルク』『ラビット・ホール』『もしも命が描けたら』『往転』『この熱き私の激情』『海の風景』『GS 近松商店』『正しい教室』『夜中に犬に起こった奇妙な事件』など。新国立劇場では『誤解』『温室』『アルゴス坂の白い家-クリュタイメストラ-』『やわらかい服を着て』『二人の女兵士の物語』『ゴロヴリョフ家の人々』『なよたけ』に出演。

池岡亮介 (IKEOKA Ryosuke)

2009年『第6回 D-BOYS オーディション』で準グランプリを受賞。主な出演に映画『東京リベンジャーズ』『1/11 じゅういちぶんのいち』、ドラマ『パーフェクトワールド』『グランメゾン東京』『獣になれない私たち』『グッド・ドクター』など。

【主な舞台】『NARUTO-ナルト-』『The Pride』『かがみの孤城』『ぼくのメジャースプーン』『愛しのボカン』『マーキュリー・ファー』『4』『魍魎の匣』『ゆびさきと恋々』『熱海殺人事件』『まじめが肝心』『CHIMERICA チャイメリカ』『火星の二人』『関数ドミノ』など。

小久保寿人 (KOKUBO Toshihito)

さいたまネクストシアター第一期生。蛭川幸雄演出作品に多数出演し『オイディプス王』ではタイトルロールを務めた。主な出演に映画『モエカレはオレンジ色』『恋い焦れ歌え』『騙し絵の牙』『花束みたいな恋をした』『検察側の罪人』、大河ドラマ『いだてん〜東京オリムピック噺〜』『西郷どん』『花燃ゆ』や、ドラマ『妖怪シェアハウス』『半沢直樹』『君と世界が終わる日に』『やすらぎの刻〜道』などがある。

【主な舞台】『ジハード-Djihad-』『カリギュラ』『盲導犬』『オイディプス王』『火刑』『ハムレット』『美しきものの伝説』など、新国立劇場では『あの出来事』に出演。

### 森川由樹 (MORIKAWA Yuki)

新国立劇場演劇研修所第6期修了。2013年、トム・プロジェクト『百枚めの写真〜一銭五厘たちの横丁〜』で本格的にデビュー。

【主な舞台】『エル・スール』『芸人と兵隊』『萩咲く頃に』『狸の里帰り』『少年Bが住む家』『唐十郎 楼閣興信所通信』『リハーサルのおとで』『レバア』『國語元年』など、新国立劇場では『ウィンズロウ・ボーイ』『ピグマリオン』に出演。

### 岡崎さつき (OKAZAKI Satsuki)

新国立劇場演劇研修所第9期修了。以降、舞台を中心に活動し、声の出演にはラジオドラマ『あなたに似た街』『斜陽の国のルスダン』がある。

【主な舞台】『ジュリアス・シーザー』『サンソン-ルイ16世の首を刎ねた男-』『フェードル』『虎は狐と井の中に』『ペール・ギュント』、新国立劇場では『トロイ戦争は起こらない』『マリアの首-幻に長崎を想う曲-』に出演。

### 阿岐之将一 (AKINO Masakazu)

新国立劇場演劇研修所10期修了。連続テレビ小説『ちむどんどん』、ドラマ『未満警察 ミッドナイトランナー』に出演し、活動の場を広げる。

【主な舞台】音楽劇『スラムドッグ\$ミリオネア』、『彼女を笑う人がいても』『検察側の証人』『岸边の亀とクラゲ-jellyfish-』『墓場なき死者』『十二人の怒れる男』『ナイロンのライオン』『ハツカネズミと人間』『ノート』『福島三部作 第一部 1961年：夜に昇る太陽』『渡りきらぬ橋』『CHIMERICA チャイメリカ』『民衆の敵』『蛇と天秤』『きらめく星座』など、新国立劇場では『東京ゴッドファーザーズ』に出演。

### 楠見 薫 (KUSUMI Kaoru)

1989年劇団「遊気舎」入団、退団する2001年まで、看板女優として活躍。2008年にはユニット「タニマチ金魚」を旗揚げ。現在、和歌山県紀の川市フルーツ大使。近年の主な出演に映画『大コメ騒動』、大河ドラマ『青天を衝け』、連続テレビ小説『おちょやん』『わろてんか』『あさが来た』、NHKBSP『京都人の密かな愉しみ』『スローな武士にしてくれ』などがある。

【主な舞台】『インプロマニアX』『雨と夢のあとに』『祈りと怪物〜ウィルヴィルの三姉妹』『ココでココからの話。』『また逢おうと竜馬は言った』『MIDSUMMER CAROL ~ガマ王子VSザリガニ魔人~』など。

### 荒谷清水 (ARATANI Kiyomi)

1984年、『都会からの風』より劇団「南河内万歳一座」に参加。以後、多くの劇団公演に出演。大澤 遊演出作品には『まじめが肝心』に次いで二作目の出演となる。また2018年には横山拓也脚本『シャフ』の演出も手がけた。近年の主な出演に映画『3つのとりこ〜つれない男〜』（主演）『嘘八百 京町ロワイヤル』、ドラマ『特捜9』大河ドラマ『青天を衝け』、連続テレビ小説『芋たこなんきん』など。

【主な舞台】『てなもんや三文オペラ』『王将-三部作-』『青べか物語』『まじめが肝心』『演出家だらけの青木さん家の奥さん』『詭弁 走れメロス』『GS 近松商店』など。

## 公演概要

### 【タイトル】

令和4年度（第77回）文化庁芸術祭協賛公演  
新国立劇場2022/2023シーズン 演劇

## 夜明けの寄り鯨



JAPAN CULTURAL EXPO

令和4年度日本博主催・共催型プロジェクト

### 【スタッフ】

作 横山拓也  
演出 大澤 遊

美術 池田ともゆき  
照明 鷺崎淳一郎  
音響 信澤祐介  
衣裳 西原梨恵  
ヘアメイク 高村マドカ  
演出助手 山田 翠  
舞台監督 川除 学

芸術監督 小川絵梨子

主催 公益財団法人新国立劇場運営財団、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁

### 【キャスト】

小島 聖 池岡亮介 小久保寿人  
森川由樹 岡崎さつき 阿岐之将一  
楠見 薫 荒谷清水

【会場】 新国立劇場 小劇場 （京王新線 新宿駅より1駅、「初台駅」中央口直結）

【公演日程】 2022年12月1日（木）～18日（日）

【料金（税込）】 A席7,700円 B席3,300円

【一般発売】 10月29日（土）10:00～

※通常の座席配置での販売を予定しております。

### 【チケット申し込み・お問い合わせ】

新国立劇場ボックスオフィス TEL：03-5352-9999（10:00～18:00）

新国立劇場Webボックスオフィス <http://pia.jp/nntt/>

☆本公演は新型コロナウイルス感染予防、拡散防止対策をとって上演いたします。

詳細：[https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23\\_017576.html](https://www.nntt.jac.go.jp/release/detail/23_017576.html)

☆本公演では、耳や目に障害のあるお客様への観劇サポートをご提供いたします。

☆一部公演にて、英語字幕（手持ち型ポータブル字幕機による）を表示します。

\* **Z席1,650円** Z席（各日10席）は、公演当日朝10:00から、新国立劇場Webボックスオフィスおよびセブン-イレブンの端末操作により全席先着販売いたします。※先着販売後、残席がある場合は、公演当日の開演2時間前からボックスオフィス窓口でも販売いたします。※電話予約不可。\* **当日学生割引**  
公演当日残席がある場合、Z席を除く全ての席種について50%割引にて販売。要学生証。電話予約不可。\*新国立劇場では、高齢者割引（65歳以上5%）、障害者割引（20%）、学生割引（5%）、ジュニア割引（中学生以下20%）など各種の割引サービスをご用意しています。